

東京病院ニュース

増刊号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

就任のご挨拶



副院長 佐々木 結花

皆様方には平素より大変お世話になっております。この度、国立病院機構東京病院の副院長を拝命いたしました佐々木でございます。感染症の災禍から感染症共棲となった現在、当院は2023年より従来の機能に戻りつつありますが、長期にわたりご心配をおかけいたし、大変申し訳ありませんでした。私は呼吸器の、特に慢性感染症を専門としております。有事に備えつつも、当院の機能を十二分に活かすことができますよう努めてまいりたいと存じます。今後ともよろしくご厚意申し上げます。



病棟診療部長 中山 洋

当院に着任して1年が経ち、だいぶ病院になじんできた気がします。このたび、病棟診療部長も併任することとなりました。消化器外科のスタッフは、患者さんのために一生懸命やる先生がそろっており、手術の結果も安定していると感じています。当院には医師以外のコメディカルにも熱心で優秀な方々がそろっておりますので、皆様のプロフェッショナルな力を引き出しつつ、引き続き患者さんのために全力を尽くして良い医療を提供していきたいと考えています。



地域医療連携部長 鈴木 純子

4月より地域医療連携部長を拝命いたしました鈴木純子です。2019年まで当院が地域と構築してきた連携が、Covid19の流行に伴う専用病棟増床等に伴い十分に取れなくなっていた間、地域の皆様、先生方には大変ご迷惑をおかけしました。私は東村山、小平で生まれ育ったこともあり、今後は再び地域の頼りになる病院となるべく、当院職員とともに尽力していきたいと思っておりますので、何かお気づきの点等ありましたら遠慮なくご意見を頂ければ幸いです。どうぞよろしくご厚意申し上げます。



地域連携室長 椎名 盟子

当院で脳神経内科医長として、脳血管障害、神経難病や認知症など様々な患者様を診療しております。地域の先生方と協力することも多かったこともあり、このたび地域連携室長を拝命しました。コロナ禍で当院から足が遠のいてしまった患者さんもいらっしゃいますが、地域のクリニック・医院や病院と連携を取りながら、皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくご厚意いたします。



外来化学療法室長 日下 圭

4月1日付で外来化学療法室長を拝命しました。近年免疫チェックポイント阻害薬の出現により、進行がん患者であっても長期生存が期待される時代となりました。特に肺癌領域においては、免疫チェックポイント阻害薬は一次治療の中心的薬剤に位置付けられています。こういった背景から外来化学療法のニーズはますます増えており、当院では2023年度より外来化学療法室のベッド数を1日最大16床に拡充しております。

出来る限り多くの患者さんの治療をお引き受けすることはもちろんのこと、安全かつ円滑に化学療法が実施できるよう努めてまいります。今後ともよろしくご厚意致します。



経営企画室長 北久保 智也

4月1日付で厚生労働省から経営企画室長（医事室長）として参りました北久保と申します。東京病院へは初めての赴任ですが、通勤途中の敷地内でたくさんの花々が咲いており、それを見ながら職場まで通っていると、大変いい環境で仕事をさせてもらっていると感じます。

昨年5月より「COVID-19」が5類感染症へ移行され、当院も通常医療への移行と安定した経営基盤の構築が重要な課題になっております。その課題に一生懸命に取り組んでいきますので、どうぞよろしく願いいたします。



副看護部長 三栖 麻理子

4月1日付で災害医療センターより昇任でまいりました副看護部長の三栖麻理子と申します。今まで主に急性期の施設で経験を重ねてきましたが、東京病院は初めての勤務になります。毎日、自然豊かな環境に癒されながら、業務を行っております。

東京病院は呼吸器疾患をはじめとした地域医療を行う役割がある病院です。その東京病院の一員として貢献できますよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



診療放射線技師長 光野 譲

4月1日付で下志津病院より異動してまいりました診療放射線技師長の光野です。国立病院勤務は29年目ですが、東京病院勤務は初めてです。特に着任早々目にした歴史ある庭園は一生忘れられない風景です。

私事ですが、多摩地区に約20年住んでおり郷土愛が強く呼吸器疾患を始めとする地域病院である東京病院は第一希望施設でした。一日でも早く施設、地域に溶け込み、安心安全な放射線検査、治療をより多くの患者さまに提供できるよう精進してまいります。ご指導、ご鞭撻どうぞよろしく願いいたします。



理学療法士長 眞道 幸江

4月1日付で高崎総合医療センターより配置換で参りました、リハビリテーション科理学療法士長の眞道幸江と申します。当院のリハビリテーションは回復期、神経筋疾患、呼吸器疾患、がん疾患など幅広い分野の専門的リハビリテーションを行っております。

微力ではございますが、これからも地域の先生方や多職種と連携しながら、より良いリハビリテーションが提供できるよう務めて参りたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

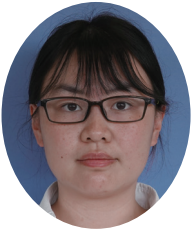


脳神経内科医師 松本 祐輔

今年度より脳神経内科に入職いたしました、松本祐輔と申します。4月より、NTT東日本関東病院より異動いたしました。東京病院では、急性期の疾患のみならず、慢性の神経筋疾患も含めさまざまな症例を学び、経験したいと考えております。地域の医療に貢献できれば幸いです。他科の先生方や他職種の方々にお世話になることも多いと思いますが、何卒よろしく願いいたします。



新任のご挨拶



呼吸器外科医師 松本 小琳

今年度より呼吸器外科医として赴任いたしました、松本小琳と申します。今までさいたま赤十字病院、NTT 東日本関東病院、東京大学医学部附属病院で勤務をしてきました。呼吸器外科医としてはまだまだ未熟ではありますが、患者さんおよびスタッフの方の力に少しでもなれるよう日々励んでまいりますのでお気軽にお声がけいただけますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



リハビリテーション科医師 照井 真理子

本年4月からリハビリテーション科医師として赴任しました、専門医3年目の照井真理子と申します。東京大学医学部附属病院や国立国際医療研究センター病院で急性期リハビリテーション医療、国立障害者リハビリテーションセンター病院で脊髄損傷や四肢切断の診療に従事してきました。東京病院では主に脳神経系疾患の回復期リハビリテーションという、今までと違う分野になり、未熟なところもあるとは思いますが、日々学び多職種と協力しながら精一杯努めていきますのでよろしく願いいたします。



リハビリテーション科医師(専攻医) 美濃部 俊輝

本年4月からリハビリテーション科専攻医として赴任いたしました、専攻医1年目の美濃部俊輝と申します。初期研修は九段坂病院で行い、そこで回復期リハビリテーションに携わることの楽しさを実感し、リハビリテーション科を専攻いたしました。主治医は初めての経験であり、皆様にご迷惑をおかけすることと思いますが、ひたむきに研鑽を積み成長できるよう精一杯努力いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。



呼吸器内科医師 山田 堯徳

今年度より入職致しました山田堯徳と申します。昨年度はさいたま赤十字病院で呼吸器診療に携わっておりました。当院に特徴的な感染症治療を中心とし、呼吸器疾患へ更に学びを深める所存です。引き続き、患者さんに適切な医療を提供できるように心がけたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。



呼吸器内科(専攻医) 和田 忠久

今年度より呼吸器内科専攻医として入職しました和田忠久と申します。多摩総合医療センター呼吸器専門医プログラムの連動研修として、当院で1年間お世話になります。呼吸器診療について幅広く学び、今後の医師人生の礎を築けたらと思っております。未熟な点が多くご迷惑おかけするかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



呼吸器内科(専攻医) 中村 侑愛

本年4月より呼吸器内科専攻医として赴任しました、中村侑愛と申します。初期研修や後期研修は青森県の病院で勤務しており、今回ご縁があって東京病院で勤務させていただくことになりました。東京病院はきれいで緑も多く、初日から楽しく勤務させていただいております。結核などの感染症や肺癌など呼吸器疾患をより深く学びながら、地域医療に貢献していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく願い致します。



呼吸器内科（専攻医） 風張 広樹

今年度より呼吸器内科専攻医として入職しました風張広樹と申します。昨年度まで帝京大学病院で研鑽を積み、肺癌等悪性腫瘍を中心に治療、緩和ケア等を行っておりました。

これまでの経験をもとに、様々な呼吸器疾患、良性疾患を幅広く学び、患者様に適切な医療を提供できるよう鋭意努力してまいります。若輩者ではありますが、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



呼吸器内科（専攻医） 大楠 桃子

4月から3ヶ月間呼吸器内科でお世話になります、大楠桃子と申します。都立墨東病院感染症科で後期研修医として勤務しています。東京病院では、結核・非結核性抗酸菌症を勉強させていただきたいと思っています。未熟な点も多いですが、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器内科（専攻医） 碓井 友理奈

4月より東京慈恵医科大学の本院より異動してまいりました呼吸器内科医師の碓井友理奈と申します。今年度より後期レジデント3年目になります。

後期レジデント最後の年になりますが、結核・抗酸菌感染・真菌感染を含む様々な感染症をはじめとしてバラエティーに富んだ多くの呼吸器疾患が集まるこの東京病院でお勉強させていただきたく私願してこちらにまいりました。たくさんお勉強して成長していきたいのももちろんですが、日常診療でも未熟者ではございますが、少しでも患者さん、先生方のお役に立てますように日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



呼吸器内科（専攻医） 下園 真人

今年度より呼吸器内科専攻医として入職しました下園真人と申します。一昨年と当院で勤務し、昨年は府中市の多摩総合医療センターで研修して参りました。これまでに身につけた経験と知識をもって患者様やそのご家族に寄り添ったより良い医療を提供できたらと考えております。

呼吸器疾患だけでなく、日常の困り事も気軽に相談して頂けたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科（専攻医） 山口 明日香

今年度より呼吸器内科専攻医として入職いたしました山口明日香と申します。昨年度までは東邦大学医療センター大森病院で研修しておりました。去年までに経験した症例とは異なった、結核を含め当院でしか経験できない多岐にわたる呼吸器疾患について学びながら、日々の診療に生かしていきたいと思っております。教科書的な知識とベッドサイドでも多くのことを吸収し充実した研修にしたいと思っております。至らない点もあるかと思っておりますが、皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくよろしくお願いいたします。

